

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
加藤 宏			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
石原 英樹		明治学院大学 社会学部 社会学科	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習	MJGa-120802-0	15人	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

調査の企画・設計からフィールドワーク、聞き取り、内容分析の実施とデータ分析、および報告書作成まで学生中心に行った。意欲的な学生が多かった。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

趣味実践がつなぐ若者と社会-ローカルアイドル・ファッション・「攻殻機動隊」-

2. 調査の内容／概要：

現代の若者の趣味と社会参加や地域性との関係を木更津のローカルアイドルのフィールドワーク、女性ファッション雑誌分析および高円寺・表参道・渋谷の女性のストリートファッション傾向と地域の関係性の観察と聞き取り、また『攻殻機動隊』というネット社会をテーマとしたアニメ作品の構造分析とファンのへの聞き取りから把握を試みた

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

木更津のローカルアイドルおよびファン関係者、女性ファッション誌および高円寺、原宿、渋谷のストリートファッション参加者、『攻殻機動隊』の大学生ファンを対象者に選んだ。ノテーマに関連する現状を理解するのに適任であるという理由から選定。

4. 主な調査項目：

「ローカルアイドルの実態」、「ファン・関係者の思い」、「地域の様子、実態」、「雑誌の傾向」、「物語の傾向」など

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

聞き取り調査、地域観察、内容分析

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

2012年7月～11月・千葉県木更津、高円寺、表参道、渋谷、明治学院大学・15名

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）：

ローカルアイドル研究では13名へのインタビュー、地域とファッション研究では300名の観察と16名へのインタビュー、『攻殻機動隊』研究では5名のインタビューを実施した。貴重な話を聞きだしている。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

テーブル起こし、インタビュー分析、内容分析

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

ローカルアイドル現象とは「近さ」の体験を強く求めるアイドルファンを取り込んだ現在のアイドル文化と「若者の地元志向」とのクロス領域に成立したものであった。また現代の若い女性ファッションは「青文字系」、「甘辛MIX」など独特の細分化が進み、地域・ストリートごとの棲み分け傾向がみられた。また『攻殻機動隊』というアニメ作品は現在のネット社会での欲望のありかの手がかりとなる未来を先取りした作品であることがわかった。

10. 報告書刊行の予定と概要：

2012年度『社会調査実習報告書Vol.29』明治学院大学社会学部社会学科 2013年3月刊行